

住まいの耐震化のすすめ

木造住宅の耐震診断と

耐震改修を補助します

市では、市民の皆さんの耐震化の取り組みを支援するため、木造住宅の耐震診断や耐震改修および公共的な建築物の耐震診断に要する費用の一部を補助します。

【木造住宅の耐震診断と耐震改修】

補助対象要件

昭和56年5月31日以前に着工された、市内にある3階以下の1戸建て木造住宅

(耐震改修は、耐震診断済みの建物で診断結果が上部構造評点1.0未満の住宅を1.0以上にする改修工事)

その他にも要件がありますので、事前にお問い合わせください。

募集戸数と補助限度額

耐震診断 18戸・2万8000円

耐震改修 2戸・30万円

募集期間

6月10日(木)～12月10日(木)

(土・日曜日、祝日は除く)先着順

【公共的な建築物の耐震診断】

補助対象要件

昭和56年5月31日以前に着工された、市内にある一定規模以上の学校・

保育所・病院・福祉施設等

その他にも要件がありますので、事前にお問い合わせください。

募集戸数と補助限度額

耐震診断 1棟・100万円

募集期間

6月10日(木)～6月24日(木)

(土・日曜日は除く)

応募者多数の場合は抽選

応募戸数に満たない場合は、当分の間、随時募集を行います。



地震はいつでもどこで発生するか予測が困難です。日ごろから地震に備えて対策をたておくことが大切です。

申し込み・問合せ

建築住宅課

☎0833(72)1400

【ホームページ URL】

<http://www.city.hikari.lg/kenchiku/index.html>

脱温暖化社会に向けて

6月は環境月間です

家庭でできる温暖化対策

私たちの生活を見直し、二酸化炭素の排出を減らすためにはどうすればいいのでしょうか。まず、次に挙げた10の取り組みのうち、できるものから始めてみましょう。

冷房の温度を1℃高く、暖房の温度を1℃低く設定する。

週2日往復8kmの車の運転をやめる。

1日5分間のアイドリングストップを行う。

待機電力を50%削減する。
シャワーを1日1分家族全員が減らす。

風呂の残り湯を洗濯に使い回す。

炊飯ジャーの保温を止める。

家族が同じ部屋で団らんし、暖房と照明の利用を2割に減らす。

買い物袋を持ち歩き、省包装の野菜を選ぶ。

テレビ番組を選び、1日1時間テレビ利用を減らす。

問合せ 環境政策課環境政策係

☎0833(72)1400

地球が悲鳴をあげています

地球の平均気温は約15℃で推移してきましたが、この100年で0.7℃上昇しています。このまま温暖化が進むと、100年後には平均気温がさらに1.1℃～6.4℃上昇し、海面が最大59cm上昇すると言われています。

6月は環境月間です。この機会に環境について考え、まず毎日の生活で、できることから始めましょう。これが環境問題に取り組み第一歩です。

